



K中通信

学校だより第10号
令和5年1月20日
横浜市立軽井沢中学校

【学校教育目標】『主体的に考え行動し、未来を切り拓く生徒の育成をめざします』

- 様々な関わりを通し、よりよく解決する力を育てます。(知・徳・公)
- 持続可能な社会の実現を目指し、しなやかに生きる力を育てます。(体・開)

【ホームページ】<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/jhs/karuizawa/>

不言実行

校長 佐藤 由利

年明け学校がスタートしてから2週間余り経ちました。学校の中庭にある梅の蕾が日ごとに膨らんできて、厳しい寒さの中でも春の近づいてくることを感じます。第1週日には、1年生2年生それぞれに恒例の「書き初め大会」が行われました。1時間余り、まったくおしゃべりをする事もなく、半紙に向かい黙々と筆を運ぶ。普段なかなか無い経験だと思います。それができる皆さんが素晴らしいのですが、より良い作品を仕上げることはまた別の、価値のある時間を過ごすことができたのではないかと思います。

1年生が書き初めで取り組んだテーマは、「不言実行」。今更とは思いつつ、改めてこの言葉の意味を調べてみました。最初に出てきたのは、「文句など言わず、黙々とすべきことを行うこと。」この説明を読むと、まさに、この書き初めに取り組んでいる1年生の姿そのものだなと思いましたが、もう少し調べてみると、「目標などを口に出したり、ああだこうだと能書きを述べたりせずに、実行に移すこと」とありました。この「目標などを口に出さず」という部分に対して、あとからできたのが「有言実行」という四字熟語なのだそうです。「目標」への向かい方や物事への取り組み方としてどちらが良いかは、人それぞれの考え方や状況に応じて違ってくると思いますが、どちらにしても、やるべきことにしっかり取り組もうとする姿勢は大切です。今年最初の学校集会でもお話したように、やろうと決めたことがなかなかできなくても、すぐに諦めたりせずに、何回でも粘り強く取り組んでいってほしいものです。

また、これから3月まで、学校としては令和4年度のまとめの時期でもあります。それぞれの学年や学級等での取り組みをしっかり振り返ってみましょう。「反省」というと良くなかったことを洗い出して、改善策を考える、というイメージが強いと思いますが、ぜひ、「良かったこと」についても考えてみてください。うまくいったことにも、当然理由があるはずで、それをはっきり意識することが、別の場面の改善策にもつながるのだと思います。

3年生は、卒業後の進路に向けて正念場です。心身の健康に気をつけて、力を発揮できるよう願っています。1, 2年生も4月からの生活・活動を意識して、今やるべきことに一つひとつ誠実に取り組んでいきましょう。